

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洞下 英人  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7192-6638  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,534	3.7	421	△1.2	424	5.8	264	4.7
29年3月期第2四半期	7,268	△8.3	426	△21.0	401	△21.8	252	△23.1

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 329百万円(588.6%) 29年3月期第2四半期 47百万円(△85.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	32.48	32.13
29年3月期第2四半期	31.05	30.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,769	11,023	68.3
29年3月期	15,286	10,847	69.3

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,768百万円 29年3月期 10,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,300	5.2	1,200	6.7	1,190	6.3	800	1.1	98.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,745,408株	29年3月期	8,745,408株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	593,287株	29年3月期	606,786株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	8,145,372株	29年3月期2Q	8,138,622株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は平成29年11月24日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定であります。この説明会で使用する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費の改善に遅れがみられたものの、政府による経済政策等により、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、景気は緩やかな回復基調となりました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、都市再開発や、東京オリンピック・パラリンピック関連事業を中心として、民間設備投資・公共投資ともに底堅い動きがみられました。しかしながら、技能労働者の慢性的な不足等による建築着工量の減少や地域格差が依然として続いているほか、利益面においては、鋼材価格の上昇や為替レートの変動等による影響が一部顕在化しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,534百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益421百万円（同1.2%減）、経常利益424百万円（同5.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は264百万円（同4.7%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①ファスニング事業

各種設備工事等の需要回復に伴い、当社の主力製品である金属系あと施工アンカーの販売は堅調に推移いたしました。また、耐震工事等の減少により低迷していた接着系あと施工アンカーの販売が底入れしたほか、停滞していた太陽光関連等の工事が進捗したことなどから、総じて順調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は5,760百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は682百万円（同6.2%増）となりました。

#### ②機能材事業

アルコール測定器の販売及び電子基板関連の販売が好調に推移いたしました。一方、電動油圧工具関連は、国内販売が低調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は1,773百万円（同1.4%減）、セグメント利益は213百万円（同5.2%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より482百万円増加して15,769百万円となりました。これは主としてたな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より306百万円増加して4,745百万円となりました。これは主として長期借入金が増加した一方、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より176百万円増加して11,023百万円となりました。これは主として利益剰余金が増加したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度と比較して19百万円（1.3%）減少し、1,516百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、176百万円（前第2四半期連結累計期間は550百万円の増加）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益が425百万円、減価償却費が161百万円となった一方、たな卸資産の増加額が572百万円となったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、251百万円（同144百万円の減少）となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出が260百万円となったことによるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、31百万円（同271百万円の減少）となりました。これは主として短期借入金の純増加額が255百万円となった一方、配当金の支払額が162百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,598,321	1,579,363
受取手形及び売掛金	3,160,414	3,109,082
たな卸資産	3,077,494	3,658,658
その他	641,335	511,376
貸倒引当金	△1,603	△1,492
流動資産合計	8,475,962	8,856,987
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,632,479	1,604,190
土地	3,147,938	3,148,838
その他(純額)	767,224	879,561
有形固定資産合計	5,547,642	5,632,590
無形固定資産	72,097	64,170
投資その他の資産	1,190,671	1,215,600
固定資産合計	6,810,411	6,912,361
資産合計	15,286,374	15,769,349
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,269,610	1,261,033
短期借入金	813,343	1,262,514
未払法人税等	153,417	159,308
賞与引当金	116,472	144,206
その他	342,866	465,757
流動負債合計	2,695,711	3,292,819
固定負債		
長期借入金	440,816	190,812
役員退職慰労引当金	15,769	17,580
退職給付に係る負債	1,078,555	1,074,274
その他	207,977	170,068
固定負債合計	1,743,118	1,452,735
負債合計	4,438,829	4,745,555
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	584,668
利益剰余金	9,235,697	9,337,479
自己株式	△244,385	△238,949
株主資本合計	10,341,094	10,451,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,915	37,446
繰延ヘッジ損益	78,110	111,985
為替換算調整勘定	153,778	167,729
その他の包括利益累計額合計	258,804	317,161
新株予約権	58,848	60,012
非支配株主持分	188,797	194,832
純資産合計	10,847,544	11,023,794
負債純資産合計	15,286,374	15,769,349

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	7,268,317	7,534,162
売上原価	4,920,199	5,174,524
売上総利益	2,348,117	2,359,637
販売費及び一般管理費	1,921,119	1,937,741
営業利益	426,998	421,895
営業外収益		
受取利息	1,397	703
受取配当金	1,778	1,569
仕入割引	15,127	14,203
投資不動産賃貸料	16,057	15,479
持分法による投資利益	-	599
為替差益	-	25,562
その他	19,517	11,261
営業外収益合計	53,879	69,379
営業外費用		
支払利息	2,137	1,776
売上割引	54,464	54,227
持分法による投資損失	351	-
その他	22,097	10,304
営業外費用合計	79,051	66,308
経常利益	401,826	424,966
特別利益		
固定資産売却益	341	411
特別利益合計	341	411
特別損失		
固定資産売却損	2	-
固定資産除却損	128	257
投資有価証券評価損	222	-
会員権売却損	3,192	-
特別損失合計	3,546	257
税金等調整前四半期純利益	398,622	425,120
法人税等	145,078	157,058
四半期純利益	253,544	268,061
非支配株主に帰属する四半期純利益	809	3,507
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,734	264,553

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	253,544	268,061
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,487	10,534
繰延ヘッジ損益	△35,626	33,874
為替換算調整勘定	△176,627	16,535
その他の包括利益合計	△205,766	60,945
四半期包括利益	47,778	329,006
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	71,328	322,911
非支配株主に係る四半期包括利益	△23,550	6,095



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	398,622	425,120
減価償却費	135,272	161,869
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△745	△4,461
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,902	1,811
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,490	27,720
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,729	△1,340
受取利息及び受取配当金	△3,176	△2,272
支払利息	2,137	1,776
固定資産売却損益(△は益)	△339	△411
固定資産除却損	128	57
売上債権の増減額(△は増加)	221,903	55,615
たな卸資産の増減額(△は増加)	△155,294	△572,541
会員権売却損益(△は益)	3,192	-
仕入債務の増減額(△は減少)	128,881	△9,016
その他	56,149	220,822
小計	801,590	304,749
利息及び配当金の受取額	2,799	1,925
利息の支払額	△1,187	△1,457
法人税等の支払額	△252,986	△128,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	550,216	176,817
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	△5,008	△6
有形固定資産の取得による支出	△134,178	△260,828
有形固定資産の売却による収入	2,208	411
無形固定資産の取得による支出	△16,475	△206
貸付けによる支出	△3,204	△42
貸付金の回収による収入	13,368	3,496
その他	△1,358	6,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△144,648	△251,142
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	10,000	255,004
長期借入金の返済による支出	△130,012	△55,837
配当金の支払額	△146,136	△162,809
非支配株主への配当金の支払額	△30	△60
その他	△5,622	△5,147
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,801	31,149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,705	23,432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	103,061	△19,742
現金及び現金同等物の期首残高	1,558,371	1,536,620
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,661,432	1,516,877

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,470,278	1,798,039	7,268,317	—	7,268,317
セグメント間の内部売上高 又は振替高	31,367	107,224	138,592	△138,592	—
計	5,501,646	1,905,263	7,406,910	△138,592	7,268,317
セグメント利益	642,665	225,027	867,693	△440,695	426,998

(注) 1. セグメント利益の調整額△440,695千円には、セグメント間取引消去1,804千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△442,499千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,760,550	1,773,611	7,534,162	—	7,534,162
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,188	96,831	126,020	△126,020	—
計	5,789,739	1,870,443	7,660,182	△126,020	7,534,162
セグメント利益	682,609	213,240	895,850	△473,954	421,895

(注) 1. セグメント利益の調整額△473,954千円には、セグメント間取引消去5,170千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△479,124千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。